

# 連時 *Renpoh*

No. 340

発行日●令和元年11月30日  
発行人●飯田メディカルヒルズ  
編集 IMH 広報委員会  
長野県飯田市毛賀 1707 番地  
TEL 0265 - 26 - 8111 (代)

特集

## IMH グループ

～私たちの仲間になりませんか～



### 目次

#### 特集

- P2 当グループの職場環境について
- P3 働きながら介護福祉士の資格を取得した経験談
- P4 奨学生を経て看護職として勤務している体験談
- P5 「八重のさくら保育園」利用者の体験談
- P6 IMH 互助会 令和元年名古屋支部総会

## 当グループの職場環境について

統括事務長 西沢 修一



当グループ（飯田メディカルヒルズ）では、職員がより質の高いサービスが提供できるよう院内外研修制度によるレベルの向上や、より上の資格を目指すこと（キャリアアップの仕組み）が出来る職場環境を整えています。また、働く子育て世代の女性の就業支援を中心とした、安心して働きやすい職場環境も整えております。詳細は、この後の実際の職員の感想をご覧くださいと存じます。

### <キャリアアップできる職場環境>

例えば、未経験の介護職の方の場合でも、専任の指導者がついて一から指導を行いますので、働きながら経験を積むことができます。また院内外研修制度も充実しており、働きながら介護福祉士を取得することも可能です。

また、看護師・准看護師といった資格を、働きながら取得できるように、奨学金制度も設けています。現在まで、実際に働きながら資格を取得した職員が多く在籍しております。



### <働く子育て世代の女性の就業支援を>

#### 中心とした働きやすい職場環境>

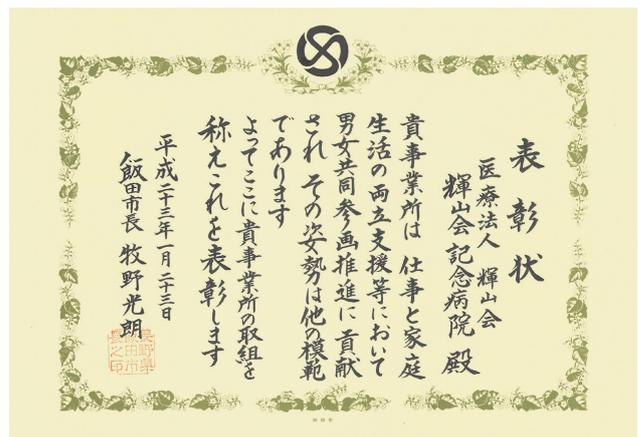
働く女性の仕事と子育てが両立できるよう、当院では事業所内保育事業（認可保育）を実施しております。

当グループは平成5年9月に、認可外保育所「さくら保育園」を開設し、働く女性が安心して仕事と子育ての両立ができるよう取り組んできました。

平成23年1月には飯田市男女共同参画推進事業者として表彰を受けました。

そして、平成31年4月1日より、事業所内保育事業として、飯田市の認可保育園「八重のさくら保育園」を開設いたしました。

このように、キャリアアップができる職場環境、安心して仕事と子育てが両立できる職場環境を整えております。



## 働きながら介護福祉士の資格を取得した経験談①

一般病棟 介護福祉士 主任 浅野 典子



私は、派遣職員として特養きりしま邸苑で働き始め仕事をしていく中で、介護職を続けたいという気持ちが強くなり正職員にさせていただきました。2年後異動した回復期リハビリ病棟では、特養と違い、リハビリ病棟特有の専門的な事が沢山ありました。色々な疾患の患者さんを目の前にして、「もっと知って関わりたい」という思いから介護福祉士の資格に取り組みました。毎日問題集と向き合い、実技では本番に弱く苦労しましたが現場で学んでいる事が役に立ち、仲間や家族の応援もあり無事資格を取得出来ました。その後、資格を活かしリハビリに多職種で関わり一緒に乗り越え在宅復帰に繋げた達成感と喜びを実感した事が今の私の原動力になっています。

現在、急性期の一般病棟では学ぶ事がさらに奥深く「患者さんに寄り添える介護」を目指しています。一緒に働く仲間にも恵まれ何年も続けられる事に感謝し、患者さんから「あなたで良かった」と言ってもらえる介護士を目指していきたいです。地域と連携している輝山会では『保健・医療・福祉』を三位一体体制としているので、どの部署でも仕事のやりがいがあると思います。もっと一緒に働ける仲間を増やし「人の役に立つ仕事」を共感したいです。



## 働きながら介護福祉士の資格を取得した経験談②

特養 きりしま邸苑 介護福祉士 主任補 今村 美奈子



私が介護福祉士を取得した年は、翌年から受験資格に実務者研修が導入されるため、実務経験3年のみで受験することができる最後の年でした。子供の進学受験も終わりひと段落していた時期でもあったので、受験をするのなら一番いい時期かもしれないと思い参考書を買って、勉強し始めたのは10月の頃だったでしょうか。

仕事を終え家事を済ませると夜の11時になり本を広げてもなかなか頭に入らず、仕事と勉強の両立は大変だったように思います。無事に合格通知をもらった時は本当に安堵しました。

介護福祉士を取得してから4年、経験が浅く戸惑うこともたくさんあります。ユニットケアの難しさを感じつつも、先輩職員にアドバイスをいただきながら日々奮闘しています。

入居者お一人ずつに寄り添い、資格取得のために学んだことを介護の現場で活かせるようにこれからも励んでいきます。



## 奨学生を経て看護職として勤務している体験談①

療養病棟 看護師 清水 達朗



介護職として入職して1年が過ぎた頃、先輩から当院に奨学生制度があることを教えて頂きました。現場で学んだことを改めて勉強してみたい、患者さんのためにより一層知識・技術向上に努めたいとの思いから、奨学生制度を活用し、翌年学校に通い始めました。

奨学生として昼間は老人保健施設万年青苑で働き、午後は伊那市の学校にて日々勉学や他病院・施設の実習に励みました。当時の職場のみなさんご支援のおかげで、休むことなく通うことが出来ました。その中で私が感じていたことは、前日に学校で学んだ知識や技術等が翌日の業務に活かしている実感です。この手ごたえは自分の中で大きな自信へとつながりました。また、働くことで安定した生活を送ることができました。

私はその後更に2年間再び学校に通い、念願の看護師免許を取得することができました。それから看護の現場に出て4年の月日が経ちました。当時を改めて振り返ると、目標に向かって毎日がとても充実していたと感じます。こうして現在、看護の現場に立てるのも奨学生制度を活用することができ、また職場の皆様のサポートを受けることができたからです。感謝の気持ちとともに日々患者さんに向きあい、これからも看護業務を行なっていきたいと思います。



## 奨学生を経て看護職として勤務している体験談②

回復期南病棟 准看護師 主任補 平沢 翔太



私は輝山会記念病院に介護職として入職しました。日々の業務の中で利用者さんや患者さんとの関わりが多くとても充実していました。その中で介護職として支援ができる限界を感じ、自分自身もスキルアップしたいと思っていました。

しかし生活もあり、働きながら学校に通うことがとても不安でしたが、当院の奨学金制度の話を聞き、進学を決めました。私の進学した学校は午後からの授業だったので、午前中は当院で働かせていただきました。

同じ志を持った仲間との勉強や実習は、今でも私の糧になっています。免許取得後は当院の一般病棟へ勤務となりました。当初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、担当プリセプターをはじめ病棟全体で指導してくれました。今は、1年目で指導してもらった基礎が大切だと実感しながら業務や指導に励んでいます。もし自身のスキルアップを考えている、また悩んでいるのであれば、先輩や実際に体験した人の話を聞くことが良いと私は思い、体験談を書かせていただきました。



## 「八重のさくら保育園」利用者の体験談①

特養 きりしま邸苑 看護師 木下 洋子



娘が保育園でお世話になり、早くも1年と数ヶ月経過します。2歳3ヶ月になる娘は、様々な言葉を覚え、大人と会話のキャッチボールを楽しめる場面が多く見られるようになり、成長の早さを感じる日々です。保育園に預ける前は、初めての事で不安がありましたが、入園前の面談や、慣らし保育の準備期間を通し、親も娘も少しずつ慣れていく事ができました。時には娘の発熱の為、勤務を早退して迎えに行かなければいけない状況に遭遇しましたが、保育園は施設に隣接した場所にあるので、すぐ迎えに行き、早めにかかりつけ医に受診ができました。

保育園では、娘の変化やその時期に流行している疾患等の情報をノートやお便り、口頭でも伝えてくれます。時には、衣類で見えない場所にある小さな発疹や発赤等を見逃さず知らせてくれ、お陰様で大きな病気にかかる事無く、今日まで元気に暮らす事ができています。残業で遅くまで勤務をする日もありますが、柔軟に対応をしてくれるため大変お世話になっています。勤務を終えて、その日の娘と他の子供さんとの出来事を聞いたり、育児相談をしたり、保育士さんから子育ての先輩・経験者としてアドバイスを頂く機会もあります。いつでも気軽に相談にのってもらい、意見交換ができる雰囲気があります。こうした親切な保育士さんに見守られ、娘は伸び伸びと保育園で生活が送れていると感じます。

このように恵まれた環境の中なので、安心して娘を預ける事ができます。ご理解とご協力により仕事と家庭生活を送れる日々に、保育士及び職場の皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。



## 「八重のさくら保育園」利用者の体験談②

総合リハビリテーションセンター 理学療法士 前田 未来



当院には、以前から院内保育園がありましたが、今年4月からは場所も体制もリニューアルし、「八重のさくら保育園」としてスタートしています。私も一年間の育児休暇を終え、今年の5月から復職し、三男がお世話になっています。新しい遊戯室はとても広々としており、1歳～3歳のかわいい子供たちがおもちゃで遊んだり走り回って遊んでいて、個性に合わせて自由に遊べる環境が整っています。

「子どもを預けながら働く」と言うことに不安や葛藤がある母親は少なくないと思いますが、職場に隣接しており、優しい保育士さん達ばかりなので安心して預けることができます。連絡帳には日々の様子が細かに記録され、お迎えの際には様子を知らせてくれるので保育士さんと子どもの成長や悩みを共有でき、母親として本当に助かっています。そんな八重のさくら保育園は今年度より飯田市の認可保育園となりました。安心して働くことができ、また安心して復職できる体制が整っています。



# IMH互助会 令和元年名古屋支部総会

7月6日（土）ヒルトン名古屋にて「飯田メディカルヒルズ互助会 令和元年名古屋支部総会」が行われました。名古屋東栄クリニックのホームページが2月にリニューアルされ、製作を担当された(株)文創社の皆様に「Web サイトリニューアル - 公開後の検証 -」をテーマに講演をしていただきました。リニューアルをしたことでスマホでのアクセスが増え、またネット予約も可能になったことで新規予約者の増加に繋がったことが数値とともに報告され、リニューアルの効果を感じる講演でした。

さらに、ホームページリニューアルの効果について予約係の立場・健康推進活動課の立場から、名古屋東栄クリニックの職員がそれぞれ報告をさせていただきました。



名古屋東栄クリニック 健診事務課 予約係 中島 淑恵



ホームページが新しくリニューアルされ、WEB 予約も始まりました。私たち予約係ではWEB 予約件数を数え、個人予約・企業予約、月別の予約件数を細かく分析しました。

お客様や企業の担当者から頂いたご意見をまとめ、パワーポイントを使いグラフの作成を行いました。初めての経験でしたので何度も修正し、リハーサルも行いました。

時代のニーズに合ったホームページにリニューアルされ、今後もWEB 予約が増えるのではないかと思います。予約係として迅速な対応、正確な情報提供、お客様の満足度を向上するため、きめ細かい気遣いがより一層必要だと考えます。

今回の発表を通じて改めて、気持ちの良い対応に心掛けたいと思います。貴重な経験ができた事に感謝いたします。



リニューアルした名古屋東栄クリニックのホームページを是非一度ご覧ください。

名古屋東栄クリニック

検索

